



矢野 邦夫 先生
浜松市感染症対策調整監
浜松医療センター感染症管理特別顧問

’81年 名古屋大学医学部卒業。名古屋第二赤十字病院、名古屋大学病院を経て、’89年 フレッドハッチンソン癌研究所、’93年 県西部浜松医療センター（2011年4月より「浜松医療センター」に病院名変更）。’96年 ワシントン州立大学感染症科エイズ臨床、エイズトレーニングセンター臨床研修修了。’97年 感染症内科長／衛生管理室長、’08年 副院長、’20年 院長補佐、’21年4月より現職。

ホームページでも、公開しています。

メディコン CDCWatch

検索

Click

株式会社メディコン

バーの开店イベントに関連した SARS-CoV-2の市中感染

2021年2月、イリノイ州の田舎でバーの开店イベントが発端となったCOVID-19のアウトブレイクが発生し、46人の感染者が報告された。イベント参加者からの二次症例（家庭内、介護施設、学校）が報告され、650人の生徒に影響を与える学校閉鎖が引き起こされた。この事例について、CDCが詳細に報告しているので紹介する（1）。

【バーの开店イベント】

- 2021年2月、イリノイ州の田舎にあるバーの开店イベントに参加した人において、COVID-19のアウトブレイクが発生した可能性があることが、州のアウトブレイク報告システムを介して、イリノイ州公衆衛生局に通知された。
- このイベントは、通常の営業時間（午後4時から午前1時）に2,800平方フィートのバーで、換気のない屋内で開催された。バーでは6人の従業員が業務していた。イベントに参加したバーの常連客の総数は不明であるが、バーの収容人数は約100人であった。

【症例定義】

- イベント参加症例：イベントに参加し、かつ、COVID-19患者にイベント外で疫学的にリンクしていないバーの常連客もしくは従業員のうち、バーの开店イベント後14日以内にCOVID-19様症状がみられるか、SARS-CoV-2検査で陽性となった症例
- 確定症例：イベントに参加し、SARS-CoV-2核酸増幅検査（NAAT）または抗原検査が陽性となった症例
- 可能性例：感染は検査確認されないが、COVID-19様症状がみられたイベント参加症例
- 二次症例：イベント参加症例との濃厚接触により、SARS-CoV-2のNAATまたは抗原検査で陽性となった症例

【バーの常連客と従業員】（図）

- バーの开店イベントに参加した人のうち、29人のイベント参加症例が特定された。そのうち26人（89.7%）はバーの常連客で、3人（10.3%）は従業員であった。COVID-19様症状があったが検査を受けなかった可能性例1人を除いて、特定された全症例はNAATまたは抗原検査によって感染が確認された。
- イベント参加症例のうち25人（86.2%）に症状がみられた。発症日はイベント後1～7日であった。
- イベント参加症例のうち4人（13.8%）はイベント当日に症状があったが、イベント前に互いに接触したことはなかった。
- テーブル間隔や身体的距離やマスク着用を促す掲示にもかかわらず、イベント参加者は、一貫性のないマスク着用をして

おり、身体的距離 (≥6フィート) を維持しなかった。

- ・イベント参加症例とほとんどは18～44歳の成人(75.9%)であり、男性(65.5%)、非ヒスパニック系白人(79.3%)であった。
- ・イベント参加症例29人のうちの常連客1人はイベント前にCOVID-19ワクチンを接種していた(初回接種後で、SARS-CoV-2検査陽性結果を受け取る5日前)。その他のイベント参加症例は接種していなかった。

[二次症例]

- ・イベント参加症例の濃厚接触者が少なくとも71人報告された。これらのうち37人(52.1%)が検査を受け、そのうち17人(45.9%)が接触から14日以内に検査陽性となった。
- ・2人の二次症例は、イベント参加症例の学校関連の接触者であり、3人は介護施設での接触者であり、12人は家庭内接触者であった。
- ・二次症例の17人のうち、13人は症候性であり、発症日はイベント後3～11日であった。年齢の中央値は28歳(範囲=10～71歳)で、9人が女性であった。
- ・イベント参加症例の1人は、イベントの2日後に鼻汁がみられたが、屋内スポーツの練習と学校での対面指導中に26人に濃厚接触した。この症例と濃厚接触した2人の学生アスリートは、イベントの8日後と13日後にCOVID-19と診断された。
- ・地元の保健局の職員は、2週間の学校閉鎖されることを学校職員から知らされた。その理由は13人の職員が隔離・クアラントインされるか、自分の子どもが隔離されたために欠勤していたからであった。
- ・看護助手として介護施設で働いていた1人のイベント参加症例は無症状であったが、イベントの4日後に施設で実施された定期的なCOVID-19検査にて陽性となった。陽性結果の後、施設内のすべての居住者と従業員が検査された。その結果、イベントの5～9日後に、この看護助手と施設内で濃厚接触した人のうち3人が二次症例(従業員1人、居住者2人)となった。介護施設のすべての従業員と居住者にはこれまでワクチン接種を勧められていたが、この看護助手および二次症例の4人は接種していなかった。
- ・2月26日までに、8つの異なる世帯の12人の家庭内接触者がSARS-CoV-2検査陽性となり、それには5人の学齢期の子どもが含まれている。

[考 察]

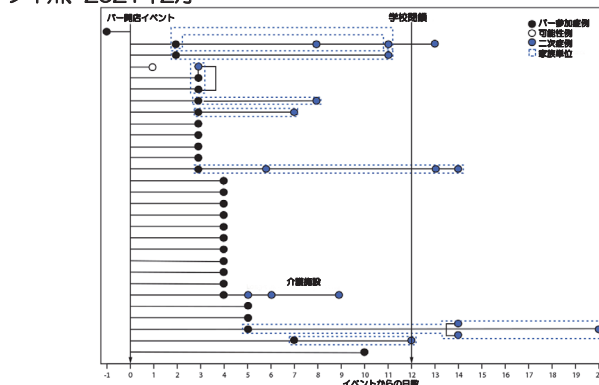
- ・無症候者は、感染者の約40%～45%を占めると推定されている。そのため、バーの开店イベントに関連した症候性患者の割合(82.6%)が高いことは、このアウトブレイクの症例の総数が報告されたよりも多いことを示唆している。
- ・レストラン、結婚式、ナイトクラブなど、飲食を伴う集まりは、SARS-CoV-2に感染するリスクを増大させ、スーパースプレッダーイベントになる可能性がある。さらに、屋内環境における一貫性のないマスクの使用と不十分な身体的距離はウイルス伝播のリスクを増加させる。
- ・CDCの「レストランとバーに関するCOVID-19ガイドライン」によると「収容人数を減らす」「十分な室内換気を確保する」「屋外席を優先する」「病気のときに家に留まる」「頻繁に手を洗う」「マスクを着用する」「身体的距離を維持する」などが重要である。
- ・バーなどのビジネスで発生したSARS-CoV-2感染は、バーの常連客や従業員に影響を与えるだけでなく、市中全体にも影響を与える可能性がある。

[文献]

- (1) Sami S, et al. Community transmission of SARS-CoV-2 associated with a local bar opening event — Illinois, February 2021
<https://www.cdc.gov/mmwr/volumes/70/wr/pdfs/mm7014e3-H.pdf>

(図)

地元のバーの开店イベントでのCOVID-19の参加症例*(N = 29)および二次感染†(N = 17)の確定例§および可能性例¶：イベントに関連する検体収集のタイミング別—イリノイ州、2021年2月



略語：NAAT = 核酸増幅検査(nucleic acid amplification test)

* イベントに参加したが、バー以外ではCOVID-19患者に疫学的関連のないバーの常連客またはスタッフで、开店イベントから

14日以内にCOVID-19様症状がみられたか、SARS-CoV-2検査が陽性となった

† イベント参加症例への濃厚接触によって、SARS-CoV-2 NAATまたは抗原検査結果が陽性となった

§ SARS-CoV-2 NAATまたは抗原検査の結果が陽性となった

¶ バーの开店イベントに疫学的に関連しているが、感染が検査確認されていない人がCOVID-19様症状を呈した

こちらも公開しています。

メディコン CDCガイドライン 検索

製造販売業者

株式会社メディコン

本社 大阪市中央区平野町2丁目5-8 ☎0120-036-541

crbard.jp

BD, the BD Logo are trademarks of Becton, Dickinson and Company or its affiliates. © 2021 BD. All rights reserved.

